

令和3年度 第1回新宮町地域づくり協議会議事概要

1 会議名 令和3年度 第1回新宮町地域づくり協議会

2 日時 令和3年6月23日(水) 15:00~16:00

3 会場 新宮公民館 2階視聴覚室

4 出席者

委員 石川泰、新木博久、内田正、大西綾夫、小笠ます子、窪田道子  
鈴木舞、出水武美、三鍋一俊、香川ひろみ、脇斗志也、栗岡君江

理事者 市民部長、建設課長、農林水産課長、建築住宅課長、高齢介護課長、  
給水整備課長、政策推進課長、情報政策課長、生活環境課長、  
観光交通課長、農業振興課長、学校教育課1名、保健推進課1名、  
農林振興課1名、建設課2名

事務局 地域振興課4名

5 欠席者

委員 高橋厚德、藤原清子、由藤隆

6 傍聴者 なし

協 議 事 項 等

1 会議次第

1 開会

2 市民部長あいさつ

3 議事

(1) 過疎計画(案)について

(2) その他

4 閉会

2 会議概要

理事者 本日の会議は3名委員の方から欠席の連絡はあり。会議の開催要件である過半数の出席をみたしていることを報告。

(1) 過疎計画(案)について

〈地域振興課より説明〉

主な意見

委員 計画にお願いしていた事が盛り込まれており満足しているが、林業分野においても進めてほしいところもあるので、お願いしたい。

理事者 高齢者生活福祉センター整備事業をこの計画に挙げている。これまでも公共施設等総合管理計画のなかで新宮窓口センターの移転について検討してきており、高齢者生活福祉センターの 1 階の新宮社協の事務所の中に移転する案が出てきている。予算化はしていないが、今後 9 月補正等で対応し、動線の分離工事とサーバー室の移転工事を行い、来年度中には移転できればと考えている。

理事者 旧の役場は、雨漏りを含めて老朽化が激しい。高齢者生活福祉センター・診療所・社協・窓口センターと一緒に協力し合って運営していける形をとったほうがいいのかと検討を進めてきた。旧の役場そのものをどうするかはまだ決定していないが、とりあえず機能を集約するという事で御理解を頂きたい。

委員長 新宮窓口センターの移転はいつ頃になるのか。

理事者 まだ予算措置はできてないが、9 月補正で設計・アスベスト調査費用を計上し、12 月補正で動線の分離工事及びサーバーの移転工事費用を計上予定である。スムーズに行けば来年度の 7 月頃に移転を予定している。

委員長 市道の市仲線は、舗装改良か。

理事者 落石防護網を設置予定である。

委員長 新宮小中学校整備事業・新宮幼稚園整備事業の具体的な事業内容を教えてほしい。

事務局 新宮小中学校整備事業については、今後使用していくなかで設備の修繕等が必要となってくることから計画の中に入れている。新宮幼稚園整備事業は、建物がかなり古く、個別施設計画に基づき屋根の改修工事を予定している。

---

## (2) その他

### 主な意見

委員 新宮少年自然の家は、老朽化しているが具体的に将来どうなるか。また、

旧新宮小中学校は、今後活用予定はあるのか。

理事者 公共施設等総合管理計画を所管する立場で分かっている範囲でお答えする。新宮少年自然の家については、相当老朽化が進んでおり、小中学校ではあまり利用もされていない状況であり、廃止も含めた検討を将来的にはしたい意向のようである。旧新宮小中学校も施設そのものを放置するのも望ましくはないが、現状利用については定まっていない。

委 員 新宮少年自然の家の隣の建物（旧塩塚高原自然休養村管理センター）はどうなっているか。

理事者 利用も大変少ない状況のことから、新宮少年自然の家と合わせて今後、検討すると聞いている。

委 員 将来的に南海地震が来ることは間違いない。その時に新宮インターチェンジあたりは起点となる場所であるため、いまの建物があれば物資等を置いたりして活用できると思う。

委 員 新宮少年自然の家寺内分館について、市の担当者から 5 年先には施設の利用方針を見直す時期であるが、地元としてどう考えているかという話があった。現状はコロナ禍で子ども達が来られなくなっているのが現状であるが、新型コロナが終息して子ども達が来てくれるのなら、地域としては喜んで受け入れたいと考えている。

委 員 堀切トンネルの照明をもう少し明るくしてほしい。事故が起きる前にやって頂きたい。

理事者 前回の協議会の時にも同様のご意見をいただいたが、愛媛県には対応をお願いしている。愛媛県からの回答では、照明が暗いのは機器の損傷でそれを現在調査しているとのこと。全部復旧するのは難しいが、トンネルの中間あたりまでをお盆までに復旧し、最終的には全部点灯できるようにしたいということで報告を受けている。

委員長 木嵐集落等の地滑り対策工事と、塩塚高原に上がる林道の進捗状況を教えてほしい。

理事者 木虱萩野線の地滑り対策工事は予定より進捗がはやく 11 月に完成予定である。また、新宮中央線についても 9 月に完成する予定となっている。

理事者 林道の栗山線については、下側の箇所はお盆明けぐらいに完了予定となっており、上側の箇所は年内に完了予定である。

理事者 一番重要なことは、これまでずっと続いてきた過疎債という財源がこの 6 年間経ったのちに、7 億円という財源が無くなるということである。これは地域にとって非常に重要だという認識を頂きたい。災害対策など特別な財源がついてくる事業は、必要な事業を実施できると思うが、これまで過疎債をあてに実施していた道路整備など、その他諸々の事業にも財源を充てられなくなる。四国中央市の一地域として議会の予算編成の中で確保できた予算に基づいての事業しかできなくなる。

この計画は事業費を含めた計画ではなく、新宮地域の発展のために必要な事柄を幅広く記載しているものであり、この 6 年間の過疎計画の中に書かれていることの中で、いったい地域のために何が優先されるのか、どこにお金を入れるのがいいのか、ハード事業、ソフト事業両方の面でまだ考えていく余地はある。また、どの事業にいくらということが決まるのは、各担当課が予算を計上し、毎年の市議会の中で決まっていく。

今後、必要な事業を限られた財源の中で、どう実施していくかといったことを、今日が最後ではなく、引き続きご検討をいただき、財源の使い道についてご意見をいただきたい。

—閉会—